

(様式1)

評価調書

評価テーマ	福岡県農業の次代を担う人材の育成
重点目標：先進技術と高い経営感覚を備えた新規就農者の育成確保	
目標：卒業生・修了生の新規就農者割合 65%	
卒業生・修了生の就農・就職率 96%	

実施計画	
養成科	
1 就農を目指す学生の確保	
・HPでの情報発信、学校訪問の実施、オープンキャンパスの実施、等	
2 就農に向けた意識啓発、就農意欲向上	
・農家留学研修の強化、インターンシップの充実・強化、等	
3 就農につながるスキルアップ	
・農業新技術の理解促進、農業経営への理解促進・実践力強化、各種資格・免許取得、等	
4 就農機会の拡充	
・就農相談会、インターンシップ受入経営体のリスト化、農業経営者との交流会	
研修科	
1 就農相談会	
2 先進農家研修	
3 普及指導センター・OBとの連携強化	
4 学校外部との連携強化	
5 入校希望者への個別相談	
指標	目標 卒業生・修了生の就農者割合 65%



実施実績	
養成科	
1 就農を目指す学生の確保	
・HP記事掲載数 18回、学校訪問 47校、オープンキャンパス3回のべ 155名参加、等	
2 就農に向けた意識啓発、就農意欲向上	
・農家留学研修 1学年全学生実施、インターンシップ法人・総合コース全学生実施、等	
3 就農につながるスキルアップ	
・農業DXへの取組み、経営力強化のカリキュラム実施、各種資格・免許取得、等	
4 就農機会の拡充	
・就農相談会 2名、受入経営体リスト化、農業経営者との交流会、等	
研修科	
1 就農相談会：2回 53名参加	
2 先進農家研修：研修生 7名実施	
3 普及指導センター・OBとの連携強化：相談者のべ 41名	
4 学校外部との連携強化：研修会 3回	
5 入校希望者への個別相談：相談件数 27件	
指標	今年度実績 就農者割合 50% (達成度 77%) 養成科 18/41名、研修科 5/5名 卒業生・修了生の就農・就職率 96% (目標達成度 96%) 養成科 39/41名、研修科 5/5名

評価 A (評価委員 全員)	A 成果が出ており、評価項目・目標への対応を行っている。	B 一定の成果が出ており、課題への対応を行っている。	C 現段階では成果が見えにくいですが、課題への対応を行っている。	D 成果が見えず、課題への対応まで至っていない。
-------------------------	------------------------------	----------------------------	----------------------------------	--------------------------

評価委員からの助言、提案事項

- ・ 数値目標（新規就農者割合、就農・就職率）に対して、実績はわずかに下回ったが、課題に対する対応は行われており、取組みは評価できる。
- ・ 自営就農者だけでなく、雇用就農、JA 関連、農業関連企業等、農業関係人口を拡大させることが、農業大学校が担う重要な役割であり、ホームページだけでなく、SNS や You Tube など学生に広く認知される方法を展開してもらいたい。
- ・ 青年農業者、OB との交流に JA 青年部との交流も検討し、活用していただきたい。
- ・ JA の役割や業務に対する学生の理解促進のため、今後も JA グループと連携した取組をお願いしたい。
- ・ 儲かる農家・農業のイメージをつくるため、経営に関する学習を充実して欲しい。
- ・ 今後も農大の強み（就農に向けたスキルアップ、県内全域から集まった仲間や先輩とのつながり、県内農業者・関係者との連携など）を農業に関心のある方に届くよう、しっかり情報発信いただくとともに、時代の変化に対応した実施体制をとり、引続き、優れた農業者の育成に取り組んでいただきたい。
- ・ 学生のため、農業のために精力的な取組は評価できる。各種免許・資格取得は特に良い。
- ・ 農業の魅力を伝える取組は今後も積極的に取組んでももらいたい。
- ・ 技術（習得）も大事ではあるが、基礎的な学力も重要。
- ・ 生徒は毎年代わっているため継続的な広報活動が大切である。
- ・ 農業大学校への高校生の理解を深めていくためにオープンキャンパスだけでなく、FAR 夢プランを通じた学年ごとの段階に応じたプログラムも有効である。